



AG5のウェブサイト

研究者・実践者の話を聞くことにしました。この講演会を取り仕切ったのは、元本校教員で、現海外子女教員振興財団教育相談員の佐々木信行先生。以下、紹介する2名の有識者に講演していただきました。

昨年11月、ワシントン日本語学校で恒例の教育講演会を開催しました。このワシントン地区にも子どもの教育に関する有益なお話をしたいだけの方が多いという状況ですが、今回は、来年度に向けた本校の新たなチャレンジの一環として、あえてインターネットを通じて日本の教育

多様な子どもたちの日本語能力を向上させるための総合的プログラムを主導してきた先生方です。ちなみに、この取り組みは、高度な(Advanced)グローバル人材(Global human resources)の育成を目的とした5つの研究テーマを取り扱うことから、その頭文字をとって「AG5」と名付けられています(AG5の詳細は<https://ag5.jp/>をご覧ください)。

雨宮先生は、3人グループの一人ずつが受け持つて調べたことを持ち寄り、互いに担当した内容を紹介します。合いながら学びを深める「ジグソー法」、それぞれが短時間で本を紹介した後、読みたくなった本を投票で決定する「プリオバトル」、「なぜなら」「たとえば」「もし」「だから」という4つの接続詞を使って書く「な・た・も・だ作文」、授業時間外にデジタル教材等により知識習得を済ませ、教室では知識確認や問題解決学習を行う「反転授業」等、ダ

「新しい一年になった。よいよ2020年である。特に今年は、日本では新元号「令和」での最初のフル・イヤーであり、新しい時代の到来である。新しい家、新しい車、新しいコンピュータ、など、それが何であれ「新しい」ことには良いことがいっぱいある。私たちは、食料品店に行っても、新鮮な野菜、新鮮な魚を探すと、安心、安全だと言うだけでなく、何としても新鮮なもの、何となく新しい感じがする。海外だからこそアクティブな授業にチャレンジしたい」と熱弁をふるっていました。

じつは、ワシントン日本語学校も「AG5」の協力校のひとつです。本紙の年頭挨拶で紹介した本校とダラス、シンシナティ3校合同授業も「AG5」の一環として実施したものです。本校は4月より、先行実践校であるダラス補習授業校に学びながら、小学部を中心に重点単元を定め、本校生徒の日本語向上を目指した実践研究を開始します。そして、その成果を世界の補習授業校に公開することを通じてこの事業の歩を進めようとしています。新しい年、若し日米人カップルの結婚の司式をさせて頂いた。新しい夫婦、新しい家族の誕生である。その初々しさ、新鮮さの中に、喜びと希望が、当の新婚夫婦はもちろんのこと、臨席者一同にも溢れていた。自ら結婚歴46年に喃々とする者として、司式をしながら幸せとは「新しさ」を保つことと、いまさらのようにシミジミと感した。

しかし、ここで、私たちが考えなければならぬことがある。それは、私たちが「新しさ」をどこに求めるかである。多くの場合、私たちはそれを「外部」、すなわち、自分以外の何かに、誰かに求めやすい。その最たるものは、私たちの人生・生活を取り巻く「環境」の新しさである。即ち、幸せを、環境の新しさに求めるのである。

これら二つのエピソードが教えることは、新たな人生は、誰かからでも何かからでもなく、まず「私自身」から始まらなければならないという真理である。正に「BE YOURSELF」である。願わくは、迎えた新年、私たち一人一人が「新しさ」を「外」に期待するのではなく、「内」に、自分の中に求め、確立するものでありたい。「神の誠実は朝毎に新たなり」と聖書。

「新しい」年になった。よいよ2020年である。特に今年は、日本では新元号「令和」での最初のフル・イヤーであり、新しい時代の到来である。新しい家、新しい車、新しいコンピュータ、など、それが何であれ「新しい」ことには良いことがいっぱいある。私たちは、食料品店に行っても、新鮮な野菜、新鮮な魚を探すと、安心、安全だと言うだけでなく、何となく新しい感じがする。海外だからこそアクティブな授業にチャレンジしたい」と熱弁をふるっていました。

物の世界だけではない。何と言っても「新しさ」は人生に、毎日の生活に「潤い」と「希望」を与えてくれる。最近では知らない方も多いかもしれないが、多くの人々に長く親しまれてきたNHKのラジオ体操のテーマソング。その冒頭の「新しい朝が来た。希望の朝だ。喜びに胸を開け。大空仰げ」の歌詞にも、そのことがよく表されている。朝の新しいさは、私たちに希望と喜び、一日を生きる力を与えてくれる。

聖書にサマリヤと言う村は、出会う女性が出てくる。彼女は、これまでの人生、「結婚」に幸せを求めて男性を遍歴して来た女性。イエスに出会うまで既に5回の結婚生活を経験し、今や6人目の男性と同棲していた。イエスは、彼女の質問を見抜いておられ、彼女が人生で出会って来たそれらの男性達も悪かったかもしれないが、彼女の人生における最大の問題は彼女自身のおうちにあると指摘。すなわち彼女自身が、まず新しくきれいな限り、問題は常に彼女自身について回ること

「新しさ」を求め、環境の新しさを求めるのである。そのほか、職場を変えること、学校や専門を変えること、転居、結婚・離婚など、生活・家庭環境を変えることなどである。確かに、それら新しい環境が、助けとなって幸せになる場合もある。しかし、同時に、私たちがしばしば経験するのは、環境や状況は新しくなり、一時的に良い方向に向かったかに見えるが、結局は「同じ」所に戻ってしまうという現実である。なぜか？ それは、すべての事柄と問題の中心である肝心の「私自身」が何も変わっていないからである。

ある家の父親が、家に帰って来るなり、「このウチ、何か臭いんじゃない?」と言いはじめ、鼻をクンクンさせながら、部屋を次々に回って、「この部屋も臭い」「この部屋も」と文句を言った。ビックリした家の人が出てきて、その父親の顔を見ると、その鼻の下に何か臭いものがくっ付いていた。それが臭みの原因だったのである。「なーんだ」とそれを取ったら、もちろん問題は解決した。

「新しさ」を求め、環境の新しさを求めるのである。そのほか、職場を変えること、学校や専門を変えること、転居、結婚・離婚など、生活・家庭環境を変えることなどである。確かに、それら新しい環境が、助けとなって幸せになる場合もある。しかし、同時に、私たちがしばしば経験するのは、環境や状況は新しくなり、一時的に良い方向に向かったかに見えるが、結局は「同じ」所に戻ってしまうという現実である。なぜか？ それは、すべての事柄と問題の中心である肝心の「私自身」が何も変わっていないからである。

「新しさ」を求め、環境の新しさを求めるのである。そのほか、職場を変えること、学校や専門を変えること、転居、結婚・離婚など、生活・家庭環境を変えることなどである。確かに、それら新しい環境が、助けとなって幸せになる場合もある。しかし、同時に、私たちがしばしば経験するのは、環境や状況は新しくなり、一時的に良い方向に向かったかに見えるが、結局は「同じ」所に戻ってしまうという現実である。なぜか？ それは、すべての事柄と問題の中心である肝心の「私自身」が何も変わっていないからである。

「新しさ」を求め、環境の新しさを求めるのである。そのほか、職場を変えること、学校や専門を変えること、転居、結婚・離婚など、生活・家庭環境を変えることなどである。確かに、それら新しい環境が、助けとなって幸せになる場合もある。しかし、同時に、私たちがしばしば経験するのは、環境や状況は新しくなり、一時的に良い方向に向かったかに見えるが、結局は「同じ」所に戻ってしまうという現実である。なぜか？ それは、すべての事柄と問題の中心である肝心の「私自身」が何も変わっていないからである。

「新しさ」を求め、環境の新しさを求めるのである。そのほか、職場を変えること、学校や専門を変えること、転居、結婚・離婚など、生活・家庭環境を変えることなどである。確かに、それら新しい環境が、助けとなって幸せになる場合もある。しかし、同時に、私たちがしばしば経験するのは、環境や状況は新しくなり、一時的に良い方向に向かったかに見えるが、結局は「同じ」所に戻ってしまうという現実である。なぜか？ それは、すべての事柄と問題の中心である肝心の「私自身」が何も変わっていないからである。

「新しさ」を求め、環境の新しさを求めるのである。そのほか、職場を変えること、学校や専門を変えること、転居、結婚・離婚など、生活・家庭環境を変えることなどである。確かに、それら新しい環境が、助けとなって幸せになる場合もある。しかし、同時に、私たちがしばしば経験するのは、環境や状況は新しくなり、一時的に良い方向に向かったかに見えるが、結局は「同じ」所に戻ってしまうという現実である。なぜか？ それは、すべての事柄と問題の中心である肝心の「私自身」が何も変わっていないからである。

学校便り 65

「AG5」と日本語学校

ワシントン日本語学校 校長
森 宏介

「新しい一年になった。よいよ2020年である。特に今年は、日本では新元号「令和」での最初のフル・イヤーであり、新しい時代の到来である。新しい家、新しい車、新しいコンピュータ、など、それが何であれ「新しい」ことには良いことがいっぱいある。私たちは、食料品店に行っても、新鮮な野菜、新鮮な魚を探すと、安心、安全だと言うだけでなく、何となく新しい感じがする。海外だからこそアクティブな授業にチャレンジしたい」と熱弁をふるっていました。



AG5の一環として行われた3校合同授業

西郷牧師の世相を斬る 33

西郷純一牧師

喜びと希望が、当の新婚夫婦はもちろんのこと、臨席者一同にも溢れていた。自ら結婚歴46年に喃々とする者として、司式をしながら幸せとは「新しさ」を保つことと、いまさらのようにシミジミと感した。

しかし、ここで、私たちが考えなければならぬことがある。それは、私たちが「新しさ」をどこに求めるかである。多くの場合、私たちはそれを「外部」、すなわち、自分以外の何かに、誰かに求めやすい。その最たるものは、私たちの人生・生活を取り巻く「環境」の新しさである。即ち、幸せを、環境の新しさに求めるのである。

これら二つのエピソードが教えることは、新たな人生は、誰かからでも何かからでもなく、まず「私自身」から始まらなければならないという真理である。正に「BE YOURSELF」である。願わくは、迎えた新年、私たち一人一人が「新しさ」を「外」に期待するのではなく、「内」に、自分の中に求め、確立するものでありたい。「神の誠実は朝毎に新たなり」と聖書。

「新しさ」を求め、環境の新しさを求めるのである。そのほか、職場を変えること、学校や専門を変えること、転居、結婚・離婚など、生活・家庭環境を変えることなどである。確かに、それら新しい環境が、助けとなって幸せになる場合もある。しかし、同時に、私たちがしばしば経験するのは、環境や状況は新しくなり、一時的に良い方向に向かったかに見えるが、結局は「同じ」所に戻ってしまうという現実である。なぜか？ それは、すべての事柄と問題の中心である肝心の「私自身」が何も変わっていないからである。

「新しさ」を求め、環境の新しさを求めるのである。そのほか、職場を変えること、学校や専門を変えること、転居、結婚・離婚など、生活・家庭環境を変えることなどである。確かに、それら新しい環境が、助けとなって幸せになる場合もある。しかし、同時に、私たちがしばしば経験するのは、環境や状況は新しくなり、一時的に良い方向に向かったかに見えるが、結局は「同じ」所に戻ってしまうという現実である。なぜか？ それは、すべての事柄と問題の中心である肝心の「私自身」が何も変わっていないからである。

英語 De 敬語
岡崎詩織

⑥ 目標の掲げ方

今月は本年のみならず、2020年代の幕開けです。今年、ひいては今後10年間の抱負を立てた方も多いのではないのでしょうか。抱負は道筋であり、その先にはなりたい自分という目標があると言えるでしょう。そこで今回は、目標の掲げ方に焦点を当てます。

抱負自体は個人的なもので、日記に留めておくだけの方もいるかもしれません。しかし、最近は新年の挨拶とともにSNS等で宣言する方もいますし、会話で登場する場合もあるでしょう。My New Year's resolution is to

exercise at least three times a week. や、I resolve to spend more time with loved ones this year. などという言い方ができます。

ビジネスでは、目標を立てる場面が多くあります。まず、ウェブサイトなどで大きく外部に宣言する場合。実現に強い自信がある場合は、We will eliminate plasticware in our city by 2021. など、未来形で決意を表明します。企業や団体の使命などでは、We aim to strengthen U.S.-Japan relations. など、大局的な表現が使われます。使命を実現するための手段など、より具体的で短期的な意思表明には、We intend to host three bilateral conferences per year. などと言うことができます。

日々の仕事における部内の目標では、数値も入れた objective を使うことが多く、Our objective is to increase sales by 10% within the next year. などと言えます。(なお、より知名度の高い goal という言葉は、国連のSDGs (Sustainable Development Goals; 持続可能な開発目標) のように、長期的で幅広いものに使

います。) Intend より具体的で口語的な plan は、We plan to submit our draft video by next week. など、普段のやり取りの中で予定を伝える場合に使えます。

組織を立ち上げたばかりでまだ使命を書いていない場合や、実現したいことが数値で測りにくい場合にも、外部に大まかな方向性を示すことは可能です。We are working to provide more educational opportunities to children. や We strive to instill confidence in high school girls. といった表現は、どのような理想のもとに活動しているのかを伝えることができるでしょう。

実現の目途が立ちにくい内容に関しては、希望として伝えることもできます。大局的な話では、We aspire to bring equality to all citizens. と言えますし、職場のやり取りでは、While I am waiting for some additional data, I hope to send you the draft report very soon. などと言えます。

目標は楽しいと同時に苦しいものです。新

年や節目に明るい未来や新しい自分を思い描く過程はわくわくします。しかし、期限が過ぎた後に目標がどれだけ達成できたかを分析し、至らなかつた点を反省するのは、多くの場合苦痛に感じられるでしょう。それでも毎度改善に努めるからこそ、私たちは前に進むことができます。2020年、そして今後10年間で皆様にとってこれまで以上に良いものになることを祈念します。

■ 岡崎詩織

国務省を含む様々なクライアントを持つ通訳者(逐次・同時通訳)。シアトルで生まれ、ホノルルと東京で育つ。言葉に対する情熱をもとに広報で10年以上のキャリアを構築し、在米・在英日本大使館、非営利団体の米日カウンシルで勤めたほか、国連開発計画ソボ事務所と国連事務局でインターンを経験。ダートマス大学で学士号、コロンビア大学の国際公共政策大学院とジャーナリズム大学院で修士号を取得。ブログ「tabula sarasara」更新中。

